

罹災状況通知書 記入例

罹災状況通知書及び損害状況実態調査書

請求書、罹災証明と同じであること

<罹災状況通知書（契約者が罹災状況を記入）>

- 1 罹災日時 令和元年10月25日（金）15時30分頃
- 2 罹災状況

物の焦げる臭いに気付いて家の中を点検したところ、隣家の2階から黒煙が吹き出していたので消防署に通報するとともに、子供を避難させた後に延焼防止のため消火活動に参加した。

隣家が焼けおちるときの炎で南側の外壁が焼損するとともに、2階子供室の窓が破れ、内部のクロス、天井等も焼損し、専門業者による修理が必要である。

家財は、エアコン、テレビ、カーテン、机等を焼損し、修理又は買換えが必要である。

契約者氏名 生協 太郎

具体的に解りやすく

連絡先（防衛省専用線） 8-76-5432（自宅TEL） 01-2345-6789（携帯） 090-1234-5678

（罹災状況について問合せを行うことがありますので必ず連絡先を記入してください。請求書と同じであれば省略可）

<損害状況実態調査書（防衛省生協事務局において記入）>

- 1 損害見積額等

以下、記入不要

- (1) 建物

構造区分	延面積 (㎡)	共済目的の価額 (円)	損害見積額 (円)	損害率 (%)	損害の程度
1 木造					火災:全焼・半焼・部分焼
2 耐火造					災害:全損・1/2以上・1/3以上・1/3未満

- (2) 動産

収納区分	契約口数	共済目的の価額 (円)	損害見積額 (円)	損害率 (%)	損害の程度
1 建物A					火災:全焼・半焼・部分焼
2 建物B					災害:全損・1/2以上・1/3以上・1/3未満
3 その他					

- 2 損害状況実態調査結果の概要

.....

.....

.....

.....

.....

調査年月日 令和 年 月 日 調査員氏名

